

横浜市小学校社会科研究会

4 学年部会

研修会記録

第 1 号

令和2年 7月 1日

横浜市小学校教育研究会

会長 相 澤 昭 宏

横浜市小学校社会科研究会

会長 梅 田 比 奈 子

同 学年部長 廣 瀬 貴 樹

【提案日時】

7月 1日 (水)

提案 廣瀬 貴樹先生 (大門小)

【会 場】

横浜市立平沼小学校

司会 小沢 暢志 (獅子ヶ谷小)

記録 鷹野 誠先生 (平沼小)

○4年部会として大切にしたいこと (部長提案)

視点①単元を見通す学習問題について

- ・単元の導入を大切にする

例：飲料水の単元

「水道の水が使えなくなったらどうする。」という問いかけから、水道水は当たり前ではないという意識をもたせる。

- ・子どもたちから生まれた問いをもとに、何から学んでいくか、学び方をみんなで考える。

※飲料水の単元 (金井先生の実践より)

- ・単元を見通す学習問題は、数値や経験、体験をもとにして生まれる。
- ・子どもたちが見通せることには限りがあるため、単元で捉えるべき内容をクリアできないこともある。

視点②本気の学習問題について

- ・本気で解決せずにはいられないような問題であり、その成立過程を大切にしたい。
- ・特に、問い返しや発問に注目したい。
- ・子どもをていねいに見とることができれば、学習問題が鋭いものになる。
- ・社会的事象の意味等に迫る学習問題であることが大切である。

○グループでの話し合いと質疑応答

- ・ふりかえりのタイミングは、学習計画をもとにして行うとよい。教師主導になるのではなく、子どもの思いを大切にしていきたい。
- ・本気の学習問題について、子どもの見とりと教師の具体的な手立てを大切にしたい。

○ミニ提案について

- ・研究について仮説と検証の機会を設けるために行う。
- ・研究会の始めの15分を用いて、推進部が提案する。

文責 小沢 暢志 (獅子ヶ谷小学校)